

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2018.1
72

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス(株)内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



CONTENTS

2018年迎春 森秀文会長挨拶	2
新任役員紹介挨拶	3
第21回OISA「技術研究会」発表会開催	3
第29回OISA技術交流会開催	4
第24回OISA研修委員会研修の実施	5
平成29年度 第1回OISA視察研修旅行	5
第23回OISAボウリング大会開催	6
新入会員紹介、フレッシュさん、新年例会案内	7
第26回サウンズコンテストのお知らせ	8

牧の戸 (九重町)



2018年 迎春



～大分県情報サービス産業協会会長 新年ご挨拶～



大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては年末年始それぞれの過ごし方で英気を養い、清々しい新年を迎えられた事と拝察いたします。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

我が国の経済は緩やかながらも着実に回復傾向にあると言われております。企業業績、世界同時好況、金融緩和等による歴史的株価高で日経平均株価もバブル崩壊後の高値を昨年12月に26年ぶりに更新しました。

景気拡大は高度成長期のいざなぎ景気を既に超え戦後2位の長さと言われておりますが、企業業績が好調な割に給与は伸びず実感が乏しいのも事実であり、デフレからは脱却できていません。

また、急速に進む少子高齢化や本格的な人口減少社会の到来により、地域は労働人口の減少、経済の停滞・縮小等、これまでにない大きな課題に直面しております。これに対し、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット化など、地域の活力向上、発展を図ろうとする新たな産業構造への転換に向けた動きが活発化しており、ICTやIoTを活用した新サービスの創造などに、積極的に取り組むことが不可欠であります。

さて今、第4次産業革命、ソサエティ5.0などと言われておりますが、これはIoT、AIを中心とした超スマート社会の事を指しており、独では「インダストリー4.0」、米国では「インダストリアル・インターネット」、中国

では「中国製造2025」と呼ばれ取り組まれています。この様なAIをはじめとする技術の進歩により、世界経済は大変貌を遂げています。その推進役として21世紀のモンスター企業とも言われる米IT企業の「FANG」(フェイスブック、アマゾン、ネットフリックス、グーグル)に加えてアップル、中国のアリババGr、テンセントはそれぞれのプラットフォームに集まる膨大なデータを駆使し、新しい技術によって様々な産業に進出しています。

一方、大分県では本年は国民文化祭、世界温泉サミット、2019年にはラグビーワールドカップ(準々決勝2試合を含む5戦)開催されます。

昨年JTBが発表した調査によりますとプレミアムフライデーを含む週末2.5日で行きたい国内ランキングで大分県は全国第8位(九州では1位)でした。観光が製造業と並ぶ主要産業になってくると考えると、観光と経済は無関係とは言えなくなってきます。

温泉、食、自然、歴史資源に恵まれたこれら大分の持つポテンシャル・ステータスを発揮できる絶好のチャンスであるとも考えられ、より効果的な情報発信をすることが重要で、ここでもICTの力を十分に活用したいものです。

また、政府、県も強力に進めている『働き方改革』では、生産性の向上(日本はOECD35ヶ国中18位)や、ワークライフバランスが重要なテーマであります。目先の無駄な仕事を減らせる等、すぐに簡単に始められるICT関連のサービスや製品も充実してきました。無駄の削減、残業圧縮、優秀な従業員を離さないテレワーク、それらを支えるモバイル機器など、これらの活用や運用にしっかりと取り組んでいくことが大切です。

結びになりますが、当協会は来年度30周年を迎え、年度中に記念式典等準備を進めます。また、産官学の皆様との連携も年々強化され、技術力は勿論、社会貢献活動にもその効果が評価されているところであります。

改めまして、会員各社の皆様、関係機関及び関連団体の皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今年は明治維新150年の節目の年でもあり、大きなイノベーションを起こす2018年にしたいものです。皆様のますますのご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新任役員紹介挨拶



新理事 ひらやま よしお
平山 義雄

【所属・役職】
大銀コンピュータサービス株式会社
代表取締役社長

【略歴】
1959年 熊本県生まれ
1981年 株式会社 大分銀行入行
2015年 大分リース株式会社
2017年6月 現職

【趣味】 映画、音楽鑑賞

【ご挨拶】
昨年6月より、尾渡前理事の後任として理事を拝命いたしました。
大分の情報サービス産業の発展に、微力ながら尽力したいと考えております。
何卒よろしく願います。

第21回「技術研究会」発表会開催

日時：平成29年12月7日(木) 13:40～14:30 場所：大分商工会議所ビル 6F大ホール

平成29年度「技術研究会」発表会が開催されました。この研究会は、毎年会員各社の中堅および若手の技術者が集まってソフトウェアの技術研究を共同で行うもので、今回で21回目となります。

今年度は「IoT（アイオーティー）デバイス部会」「Python（パイソン）部会」の二つの研究部会を設けて募集を行い、大分大学大学院生、IVY総合技術工学院生を含め、19名の参加者により、部会ごとに具体的なテーマを決めて実際の研究活動を行ってきました。発表会では各部会のメンバーより、今年度行ってきた研究の成果を発表していただきました。

今回の各部会の研究テーマと発表内容は、以下の通りでした。

1) IoT デバイス部会

テーマ：「IoTデバイスを身近に」

内容：IoTとはさまざまな「モノ」がインターネットに接続され、単に繋がるだけでなく、モノがインターネットのように繋がり情報交換することにより相互に制御する仕組みのこと。身近なところでは、スマートスピーカーやロボット掃除機などのIoTデバイスが既に発売されており、市場規模は急速に伸びている。日本ではIoTに対する取り組みがまだまだ消極的であり、今後積極的に開発を進め、IoT機器を安全に利用するために、ユーザーのセキュリティの意識も高めていく必要がある。そこで、部会では、自分たちで何かつくりたいと考え、シングルボードコンピュータのRaspberry Pi（ラズベリーパイ）、センサーおよびブレッドボード（電子回路試作用基板）を利用して、「窓の開閉通知」「自転車盗難追尾」のシステム開発を行った。発表会では実際に作成したシステムを動かした映像を紹介した。



IoT デバイス部会

2) Python 部会

テーマ：「PythonによるNumbers4予測への挑戦」

内容：Pythonとは今話題の人工知能（AI）やWeb開発など広い分野のアプリケーションで使われている動的プログラミング言語のこと。部会ではPython言語と機械学習を使って何かをやりたいと考え、Numbers4を予測するシステム開発に取り組んだ。メンバーは、データ作成・機械学習・Webサーバーの3チームに分かれてシステム開発を実施。データ作成チームは当選結果サイトの調査や「Python」「Django（PythonベースのWebフレームワーク）」「TensorFlow（Googleが開発した機械学習ライブラリ）」の実行兼開発環境を構築して学習用データを作成。機械学習チームは「TensorFlow」を使って、手書き文字認識のチュートリアルを流用しNumbers4を予測。Webサーバーチームは画面のレイアウトの作成や「Python」「Django」を使用してアプリケーションを開発。アプリの動作結果や仮想マシン作成の苦労などを紹介した。



Python 部会

各部会ともまとまった理解しやすい発表内容となっていました。本務の傍ら十分な時間が取れない中での研究活動であったと思われませんが、新しい技術動向に対して精力的に研究し、業務への影響や新たな事業展開の可能性を視野に入れた前向きな取り組み姿勢に感慨しました。

最後に田中委員長より講評とお礼を申し上げ、各部会の代表者に対して研究活動の労をねぎらいました。なお、各部会の発表資料は当協会のホームページにて公開しています。

(技術委員会)

第29回 OISA 技術交流会開催

日時：平成29年12月7日(木) 14:40～17:00

場所：大分商工会議所ビル 6F大ホール



OISA 技術交流会は、業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招くことにより、大分県における情報サービス関連技術の向上および発展を促し、更なる振興を図ることを目的に毎年開催されています。29回目を迎える今回は、講師に株式会社ウフルの八子知礼氏とネットコマース株式会社の齋藤昌義氏をお迎えしてご講演いただきました。また今回は、ご講演された講師の方々にも参加していただき「ICT技術者のキャリアアップ」をテーマとしたパネルディスカッションを開催しました。今回は20団体131名の参加をいただき、活況を呈しました。

テーマ：「すべてがつながるIoTとデジタル化の

世界があなたを変える！」

■ 講師：(株)ウフル 専務執行役員 八子知礼氏



八子知礼氏

1. IoT (Internet of Things)

IoTは「モノのインターネット」と言われるが、「モノ」では非常に小さな発想にしかならない。「モノごと」と捉えなおし、モノ・ヒト・データ・プロセス、繋がっていないことすべてが繋がっていると解釈していただきたい。

2. Digital Universe

(デジタルユニバース)

Digital Universeとは地球上にあるデータの総量のこと。アメリカ、欧州がデータの半分を占めており、次いで中国、インド。日本は全体の8%にも満たず、2020年には5%の比率に下がると言われている。これからは紙ではなくデジタルに変えていくことが重要になってくる。

3. Digital Twin (デジタルツイン)

Digital Twinとは、リアルなモノや設備などの環境、稼働状況をデジタル上で同一に実現すること。このシミュレーションの精度を上げるには大量なデータが必要になる。そこで、IoTを使って継続的にリアルタイムに大量のデータを収集し、これに基づく分析とシミュレーションの結果を「AI」を使ってフィードバックすることで、ミスの少ない環境を作っていくことができる。

4. IoTビジネス構築時の課題

(1)事例がない、他社がやらない、ではなく他社がやっていないうちにやること。(2)IoTシステムの構築はトライアンドエラーで運用しながら改善すること。(3)IoTビジネスは「モノ」だけではなく「ヒト」に着目すること。(4)行政がある程度旗振りをして取り組みを誘導すること。これらがIoTビジネスの構築で重要になる。

5. 最後に

デジタル時代には業界の境目がなくなる。隣接市場や融合する業界・商材を意識した視点が重要になり、デジタルオーシャンの水面下でどのような繋がりを創るのが極めて重要となる。

テーマ：「未来を味方にする技術

～ITがもたらす新しい常識、これからの働き方～」

■ 講師：ネットコマース(株) 代表取締役 齋藤昌義氏

1. クラウド価値をうまく引き出した

Webアプリケーション開発事例



齋藤昌義氏

自社のWebシステムを単純にクラウドへ置き換えただけでは駄目である。データベースや監視ツール、無料サービスなどをうまく利用すれば運用費用はかなり下がる。さらにクラウドを活用すれば、構築や運用から解放され最新テクノロジーの早期実装ができ、ビジネスの成果に直接貢献する。

2. アジャイル開発とDevOps (デブオプス)

これからのシステム開発はスピードが求められ「アジャイル開発」「DevOps」「クラウド」が必要となる。アジャイル開発では開発・変更への迅速な対応が重要で、さまざまな条件・環境の変化に即応し無駄なシステムは作らない。DevOpsは開発部門、運用部門、品質部門が一緒になって、システムが安定・安心に稼働できるように仕組みを作ること。さらにインフラ環境の調達・構築・変更や開発・実行環境をクラウドにすることで迅速な対応が可能になる。

3. これからのビジネス戦略

デジタルトランスフォーメーションとは、IoTやAI・ロボットなどを前提に最適化されたビジネスプロセスへ転換すること。これにより人間の制約を排除し品質・コスト・期間などの限界をブレイクスルーしてビジネスに新しい価値基準を持ち込むことができる。これからは、顧客とS Iで「共創・デザイン思考」を行い、それ以降の工程も「アジャイル開発・DevOps・クラウド」を一緒に行うことで、顧客に提供する価値は、変更への柔軟性とスピード(シェア×サブスクリプション=利益と売上)へと変わっていく。

4. 「働き方改革」で何を指すのか

働き方改革には「テクノロジー」が大きく影響する。テクノロジーが進化すれば、AIや自動化が既存スキルの不良資産化を加速し、人生の「旬」の期間を短縮する。またライフスタイルや医療・衛生等が改善し高齢化を助長する。これからは単一スキル/単一キャリアではなく、マルチスキル/パラレルキャリアへ転換して、異なる分野の物事を組み合わせる新しい物事を作り出せる人材が必要になる。

【パネルディスカッション】

テーマ：「ICT技術者のキャリアアップ」

パネラー：八子知礼氏、齋藤昌義氏

司会：大城英裕氏(大分大学)

■ IoTやAIは人の仕事にどのような影響をもたらすのか

簡単に使えるIoTやAIが身近なところが増えることで、人が部分的にやらなくていいことが増えてきている。(八子氏)

IoTやAIは人間の意志や発想・思想がなければ何もできない。何を解決し何を達成するか考えるのは、人間にしかできない。人間の価値や役割が無くなることはないが、知的な力仕事は無くなっていくかもしれない。(齋藤氏)

■ IoTやAI時代でどのような働き方があるか

IoTやAIが怖い、仕事がなくなってしまうと思っている方がいるが、身の回りはすでにIoTやAIがたくさん溢れている。よって共存共栄していくことが楽しい働き方につながる。(八子氏)

どんな職業でもIoTやAIの影響を受けないことはない。自分自身で過敏に反応し、生き方や学び方や働き方を考え、働き方改革をしていかなければならない。(齋藤氏)



パネルディスカッション

(技術委員会)

第24回 OISA研修委員会研修の実施

～ご参加ありがとうございました～

本講座はJISAの補助金を受けて開催しており、今年度で24回目を迎えました。今年度の特徴としては新しい講師を東京からお招きしたこと、その講師により受講者には希望によりPMP/ITCの受講証明書(PDU/実践力ポイント)がいただける特典が付いたことでした。その特典のお蔭もあり、OISA会員以外の方の受講者が増えました。先日、2講座共に無事終了いたしましたので、ご報告いたします。



いただいたことで具体的なイメージを把握し易かったのではないかと思います。受講者からは、「新しい考え方や視点が学べた」、「内容が濃いので時間を増やしてほしい」、「ヒントを沢山いただいたので、持ち帰って充分復習したい」等々、前向きなコメントをいただきました。

〈プロジェクトマネジメント基礎講座(1.5日コース)〉

ITCの学習ポイントの一つである広義のプロジェクトの実践編として、ポートフォリオとは何か、プログラムとは何かから講座が始まったことで受講者からすると、やや難易度が高いと思う人もいたようです。その中で、講師の経験に裏打ちされた話には説得力があり大いに理解の手助けになったと思いますし、多くの個人演習やグループ討議を組込んで

〈情報セキュリティマネジメント基礎講座(1日コース)〉

組織の観点から情報セキュリティを認識し、その対策、組織の運用ルール確立の基礎を身に付けるという少し広い視点での内容でした。そのため、若手中心の受講者にはやや難易度が高いのではと懸念しましたが、受講者からは「大変わかりやすかったです」、「自身の足りないところが多々見えました。始めたいことがいくつか見つかりました」等々のコメントもいただき、好評でした。

研修後のアンケート等も参考にし、これからも会員の皆様のニーズを反映した研修を企画していきますので、さらなるご意見、ご要望をお待ちしています。

(研修委員会)

講座名	実施日	参加者人数	参加企業数
プロジェクトマネジメント基礎講座	平成29年11月15日(水)・16日(木)	18名	10社
情報セキュリティマネジメント基礎講座	平成29年11月17日(金)	19名	12社

平成29年度 第1回 OISA 視察研修旅行

日程：平成29年8月24日(木)～25日(金)
 日程：都井岬ビジターセンター(宮崎県串間市)
 内之浦宇宙空間観測所(鹿児島県肝属郡)
 参加：12社21名

1日目 都井岬ビジターセンター

ビジターセンターにて野生馬のDVDを鑑賞後、職員の方から野生馬の生態について説明を受けました。

その後、岬の巨大な灯台を見学し、実際に天然記念物の野生馬を近くで見学しました。

また、人の手が加わっていないという特別天然記念物の蘇鉄も見学しました。



ビジターセンターにて係員の方より野生馬について説明を受けている風景



野生馬を遠くバックに集合写真

2日目 内之浦宇宙空間観測所

ガイドの方の案内で巨大パラボラアンテナを見学した後、観測ロケットの打ち上げ場に行き、打ち上げ時の写真を見せていただきながらロケットや衛星及び施設の説明を受けました。



巨大パラボラアンテナ展望台での集合写真

最後に資料館を見学しました。

(企画委員会)



観測ロケット打ち上げ場での視察風景



資料館でガイドの方から説明を受けている風景

第23回 OISAボウリング大会開催

開催日：平成29年11月29日(水) 場所：OBSボウル

去る、11月29日(水)、イベント委員会主催によるボウリング大会が、OBSボウルにて、24社36チーム144名の参加を得て、盛大に開催されました。

競技は、1チーム4人で構成され、2ゲームのトータルスコアで団体戦と個人戦が競われました。

競技終了後はアクロスホールに場所を移し、軽食を取りながら表彰式が行われました。表彰式では森会長の挨拶に続き、上位入賞者の表彰と賞品の授与が行われました。また、上位入賞者の記念撮影があり、和やかな雰囲気で大회를終了しました。

今大会は、団体戦では九州東芝エンジニアリングAチームが、わずか2ピン差で大銀コンピュータサービスBチームを抑えて優勝し、個人戦男子では野山和弘さんがトータルスコア395点で、個人戦女子では立川祐美さんがトータルスコア301点でそれぞれ優勝を勝ち取りました。

次回も皆様のご参加をお待ちしています。(イベント委員会)



ゲーム中の様子



森会長挨拶



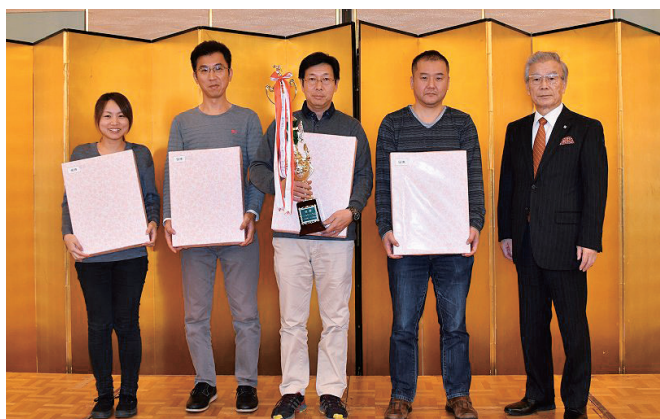
小野理事挨拶

団体戦の部

順位	チーム名	総得点
優勝	九州東芝エンジニアリングA	1,277点
準優勝	大銀コンピュータサービスB	1,275点
3位	大銀コンピュータサービスA	1,248点
4位	オルゴB	1,194点
5位	富士通九州システムズ	1,190点
6位	リコージャパンA	1,176点
7位	オーイーシーB	1,172点
8位	オーイーシーA	1,159点
9位	大交ソリューションズ	1,153点
10位	システムトレンド	1,127点

個人戦の部

	氏名	総得点
男子ハイゲーム賞	野山 和弘(九州東芝エンジニアリングA)	395点
女子ハイゲーム賞	立川 祐美(三起電通)	301点
敢闘賞	若本 幸一(三菱商事太陽A)	—



優勝チーム



準優勝チーム

新入会員紹介

よろしくお願い致します。

株式会社ザイナス
代表取締役社長

江藤 稔明

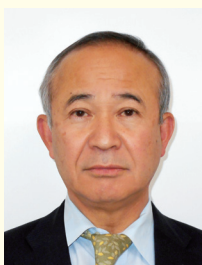


事業内容
コンピュータソフトウェア開発

所在地：大分市金池南1-5-1
 コレジオ大分5階
T E L：097-576-9071
F A X：097-576-9952
所 属：研修委員会

フコク電興株式会社 情報通信部 大分営業所
代表取締役社長

中島 健司



事業内容
電気通信工事業、
通信建設工事業（設計、製作、施工）
所在地：大分市下郡北3丁目
 8番36号
T E L：097-503-9818
F A X：097-503-9828
所 属：企画委員会

株式会社NICS 大分事業所
代表取締役社長

山根 慎一郎



事業内容
情報サービス業、O A機器販売
所在地：大分市日吉原3番地
 三井造船（株）
 大分事業所構内
T E L：097-578-9340
F A X：097-578-9340
所 属：無し

フレッシュさん紹介 よろしくお願ひいたします。



大銀コンピュータサービス株式会社
営業部
植木 真矢

趣味：食べ歩き
好きな言葉：継続は力なり

昨年の4月に入社して9ヶ月が経ちました。入社当初は、初めての事ばかりで覚えることが多く、この先、仕事をうまくやっていけるか不安になることが多々ありました。しかし、上司や先輩方のご指導の下、日々勉強を重ねていくうちに、徐々に業務に慣れることができました。

現在は、営業部に配属され、銀行が提供するインターネットバンキングサービス等のサポートを行っております。お客様の状況に合わせた柔軟な対応が必要なため、苦勞しています。しかしながら、お客様から感謝のお言葉をいただいた際は、仕事にやりがいを感じます。

まだまだ分からないことが多く、失敗して上司や先輩方に迷惑をかけることもあります。それらの経験を自分のものにして、成長できるように一所懸命頑張っていきたいと思ひます。



佐伯印刷株式会社
ソリューション本部ソリューション室
黒木 かな

趣味：一人旅、バレーボール
好きな言葉：笑う門には福来る

大学を卒業し、晴れて社会人としてのスタートから9ヶ月が経ちました。上司や先輩、同期に恵まれ、新たな仕事に挑戦していく充実した日々を過ごしています。

ソリューション室に配属されてから、デスク作業から取材や撮影などの動き回る仕事まで、様々な経験をしています。仕事の幅が広く、自分の未熟さを感じることも少なくありません。しかし、上司や先輩にサポートしていただき、同期と励ましあいながら、少しずつではありますが仕事に慣れてきたように思ひます。

これから仕事をしていく中で、失敗すること、落ち込むこともあるかもしれません。ですが、自分の考えをしっかりと持ち、周囲への気配りを欠かさず、成長し続ける自分でありたいと思ひます。まだまだ未熟な私ですが、出会った方々への感謝を忘れずにこれからも精進して参ります。

新年例会のご案内

1. 日 時 平成30年1月17日(水) 15:30より(受付 15:00～)
2. 場 所 大分県労働福祉会館ソレイユ 7階 アイリスの間
 大分市中央町4丁目2番5号 (097) 533-1121

3. 新年例会

- (1) 新年挨拶 15:30～16:00
 森会長挨拶、来賓挨拶
(2) 特別講演 16:00～17:30
 ① 講師 ^{ひらた こうじ} 平田 輝志氏 43歳
 ② 演題 2019年ラグビーワールドカップ 日本大会にむけて
(3) 新年祝賀会(パーティー) 17:30～
 ① 祝賀会会場 7階 カトレアの間
 ② 会費 お1人につき 5,000円

^{ひらた こうじ} <平田 輝志氏プロフィール>

- 1990年 福岡県立東筑高校入学。
 91年、92年福岡県代表として国体出場。
1993年 早稲田大学に進学。
 95年、96年全国大学ラグビー選手権準優勝。
1997年 九州電力株式会社入社。
 06年までラグビー部現役。
2011年 九州電力キューデンヴォルテクス監督就任。
 トップリーグ昇格。
2015年 監督退任。九州電力大分支社着任。
2016年 大分県・大分市ラグビー協会及びOITA
 NOSIDE CLUB アドバイザー就任。
 現在に至る

第26回

主催：大分県情報サービス産業協会

コンピュータミュージック

サウンズコンテスト

ON THE COMPUTER



コンテスト 公開審査・結果発表

平成30年 1月27日(土)
13:30~17:00

当日、会場にて
お待ちしております！

ところ iichiko総合文化センター
映像小ホール(地下)

大分市高砂町2番33号 TEL 097-533-4003

後援

大分フットボールクラブ・日本文理大学・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・J:COM大分ケーブルテレコム

協賛

大分フットボールクラブ・日本文理大学・Oita Sound Creator協会

お問い合わせ

大分県情報サービス産業協会 コンテスト事務局
TEL 097-568-4600 FAX 097-569-0121 担当/大熊(ゴードービジネスマシン株)

<http://www.oisa.jp/sounds/>

QRコード

